

提出日 平成25年 4月 2日

平成24年度 総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類 (該当に○)

海外共同 共同研究 個人研究・出版助成

研究代表者 (所属・職名・氏名) 家政学部 建築・デザイン学科・教授・松本年史

研究課題名

「建築教育における「ヒューマンセキュリティ」概念導入の可能性について」  
—生活の質の向上と住環境の改善に求められる新たな概念形成—

研究分担者 (共同研究者)

戸田康男

研究期間

平成24年 4月 1日から平成24年 3月31日

研究を実施することになった経緯 (海外共同の場合のみ記入)

戸田先生と私 (松本) は、発展途上国のなかでもアジア地域の住環境問題について関心を持ち、過去にも中国南部地域の住環境調査を行った。これらの地域の住環境は今後改善が求められるが、いわゆる近代化の名の下に行われつつある開発は、本質的な地域社会の生活の質の向上につながっていないことを問題として感じてきた。この問題に対して「ヒューマンセキュリティ」の概念を導入することで、より本質的な住環境の改善のついでに概念が形成できることを期待して共同研究を行うこととなった。

研究組織 [ 氏名, 所属, 役割分担 ]

松本年史、建築・デザイン学科、主担当  
戸田康男、建築・デザイン学科、共同研究者

研究発表 (印刷中も含む) 雑誌及び図書

平成25年度の継続研究終了後共立女子大学紀要に投稿予定

## 研究実績の概要

### 1) 文献・資料調査

- ① 「ヒューマン・セキュリティ」の概念研究（平成24年4月から9月）
  - ・文献及び研究論文・資料を元に「ヒューマン・セキュリティ」の概念、定義、研究分野ごとの研究内容などについて調査を行った。
- ② 先行研究調査（平成24年6月から12月）
  - ・研究発表論文を中心に、家政学分野に関連した「ヒューマン・セキュリティ」の先行研究を調査。

### 2) 海外調査

- ① モンゴル遊牧民の夏期の移動生活と実態調査（平成24年7月31日から8月12日まで）
  - ・ウランバートル周辺とゴビ砂漠に暮らす遊牧民の移動生活についての実態調査を行った。
  - ・ウランバートルで遊牧民の生活に関する政府公表資料、研究文献の調査を行った。
- ② モンゴル遊牧民の冬期の移動生活と実態調査（平成25年3月18日から3月29日まで）
  - ・ウランバートル周辺に暮らす遊牧民の冬期の生活についての実態調査を行った。
  - ・遊牧民の定住化が進むウランバートル近郊のゲル地区の第一回調査を行った。
- ③ タイ東北部農村地域の建築調査と集落調査（平成25年3月1日から3月10日まで）
  - ・タイ東北部農村地域の伝統的建築を民家を中心に調査を行った。
  - ・近代化に伴う建築と集落の変化についての資料調査を行った。